

## 降誕節第2主日(白)

### 新年礼拝

2026年1月4日 10時20分～

司式:

奏楽:

#### 《神の招き》

前 奏	『いざわれら、主なる神に』 J. パッヘルベル 灯火入堂	アコライト: 教会学校
招 詞	イザヤ書43章19節	
賛 美 歌	教会福音讃美歌 505	

#### 《神の言葉》

祈 祷	聖霊の照らしを求める祈り
聖 書	ゼカリヤ書8章1～8節 ルカによる福音書2章41～52節
	(旧約1463頁) (新約 103頁)

子ども説教	
交 読 詩 編	詩編89編1～15節
賛 美 歌	278
説 教	「神と人から恵みを受けて」
祈 祷	八木浩史牧師
賛 美 歌	287

#### 《感謝の応答》

信 仰 告 白	使徒信条
獻 金	
祈 祷	献金当番
主 の 祈 り	(週報表紙、ホームページ掲載)

#### 《派 遣》

頌 祝	28
福 告	1月誕生者祝福
後 奏	

礼拝当番:

(役員: )

献金当番:

音響:

映像:

■ ■ ■ 調布教会は 2026 年度に創立 80 周年を迎えます ! ■ ■ ■

#### 「神と人から恵みを受けて」

『ゼカリヤ書』は預言書であると共に、神の隠された計画を明らかにする「黙示文学」でもあります。14章からなるゼカリヤ書は前半(1～8章)と後半(9～14章)に区分され、前半を「第1ゼカリヤ」と呼び、神殿再建前の預言が書かれています。後半の「第2ゼカリヤ」は神殿再建後の預言です。本日の8章では、まだエルサレム神殿は再建途中です。しかしやがて主なる神が「エルサレムのただ中に」住まわれ、神殿再建を完成させることをはじめとして、エルサレムを回復させられます。その時には、主の平和の内に、広場には年老いた男女が長寿のしるしである杖を持って集い、男女の子どもたちも共に戯れて遊び、安心して暮らすことができるようにしてくださるというのです。

『ルカによる福音書』は、主イエスが12歳の時の出来事について記します。両親はガリラヤのナザレに住んでいましたが、過越祭には毎年エルサレム神殿にやって来ていたのでした。帰途で両親は主イエスを見失い、探し周り、三日後に神殿の境内で見つけます。主イエスは教師たちに囲まれて、「話を聞いたり、質問したり」して学んでおられたのでした。マリアが叱ると主は「私が自分の父の家にいるはずだということを、知らなかつたのですか」と答えられます。主イエスの本当の父は、天の神なのです。しかし主は両親と共にナザレに帰られ、「両親にお仕えになった」のでした。「仕える」ことは自発的な行動です。神に仕える主は両親にも仕えて、時が満ちるまで過ごされます。